

## 子ども本人に必ず会う

# こどもスマイル100%プロジェクトの取組 (兵庫県明石市)

(平成26年度から実施)

## 乳幼児健診時の確認など

- 「こんにちは赤ちゃん事業」による家庭訪問 (生後速やかに)  
民生児童委員が子どもが生まれたすべての家庭を訪問

### ➤ 乳幼児健診

健診の種類	受診率 (29年度)
4か月児健診	98.5%
1歳6か月児健診	97.5%
3歳児健診	94.6%

この機会に会えない場合は、子どもと接点を持ち得る関係機関 (保育所、医療機関、生活福祉課等) と連携し確認

それでも会えない → 平成29年度は250人存在

## 保健師等による家庭訪問

### ①保健師が訪問 (夜間・休日も)

- ・本プロジェクト実施に伴い保健師数を増
- ・13中学校区に15人を配置 (うち1人は未受診家庭対応担当)

### ②地域の民生児童委員が訪問

- ・保健師が何度行っても不在の場合は近隣の民生児童委員に訪問を依頼

それでも会えない → 平成29年度は1人存在

## 要対協担当課職員による調査・訪問

- 入国管理局へ出国状況を確認するほか、必要に応じて警察・児相と連携

# 子どもの健康を100%確認

※なお、現時点で子ども確認のために児童手当の振込手続き停止を行った事例はない

## 子どもの健康100%確認の意義

- 子どもを確認する = **子ども視点での支援**
- 支援を必要とする子どもの早期発見 = **虐待予防**
- **個々の状況に寄り添い、継続的な支援**へつながる

### 【健診未受診家庭への訪問後の対応】

訪問の結果、大半の家庭は勧奨に応じて健診を受診。また、養育上の課題が見受けられる場合は、必要な支援につなげている。

#### ▶ 訪問の結果継続的支援につながった人数（29年度）

健診の種類	人数
4か月児健診	7人
1歳6か月児健診	9人
3歳児健診	20人

#### ▶ 支援事例

- ✓ 子どもに発達上の課題が見受けられたため、保健相談対応を継続的に実施
- ✓ 療育が必要な子どもと判断されたため、障害児通所サービスにつなげる
- ✓ 在留資格が切れていた外国人家庭であったため、関係機関につなげる

このほか、子育て世代包括支援センターにおいて**妊婦全数面接**も実施（担当保健師等6名配置）。

来所できない方に対しては家庭訪問で対応。